

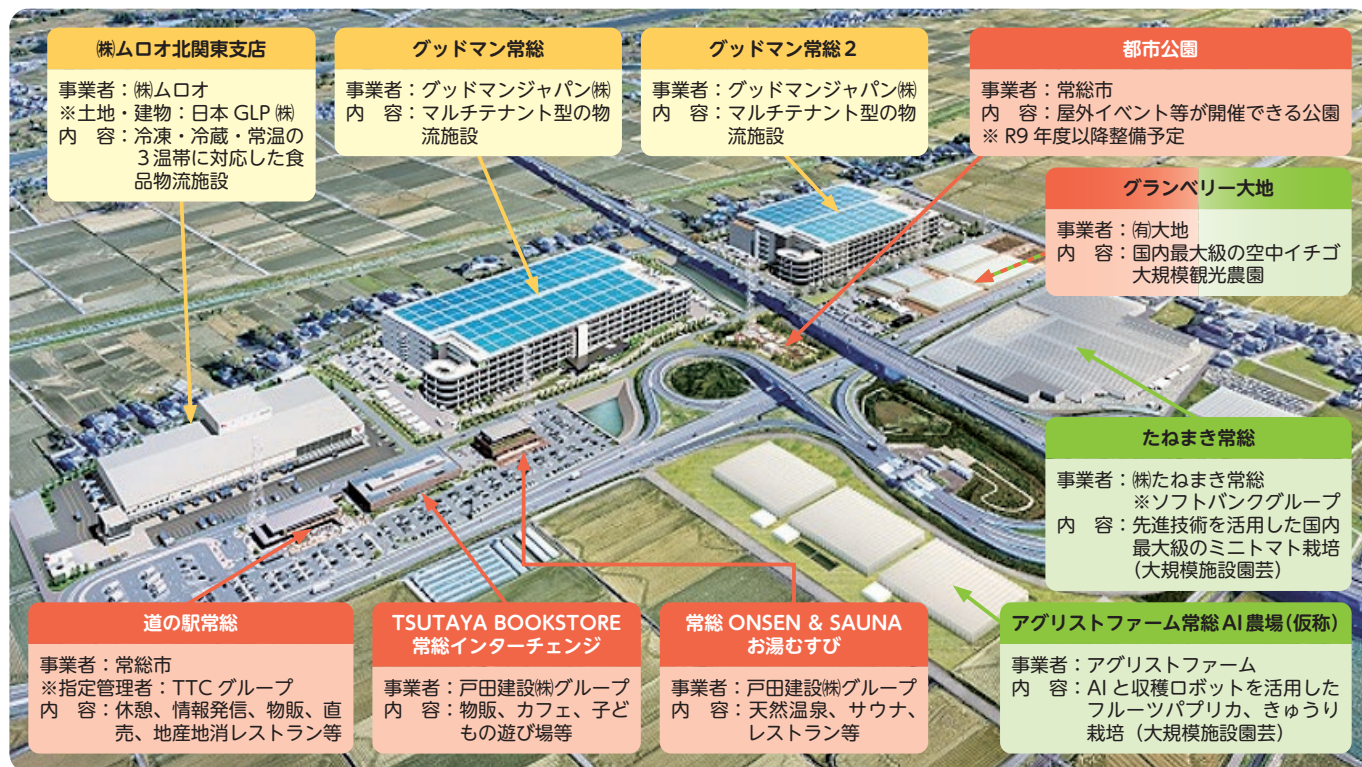
アグリサイエンスバレー常総



常総市の新たな玄関口として、圏央道常総インターチェンジ周辺の約 45ha に、生産・加工・流通・販売が一体となった地域農業の核となる産業団地です。

本市の基幹産業である農業を活かしたまちづくりを推進しています。

■ : 都市エリア ■ : 都市エリア (集客ゾーン) ■ : 農地エリア



道の駅常総：食農楽のむすびまち 輝くえがおをつむぐ駅

関東平野の広々とした水田の風景の中、国道 294 号線と圏央道常総インターチェンジとが交わる場所に、常総市が掲げる「農業を活かしたまちづくり」の拠点施設として、2023 年 4 月 28 日に「道の駅常総」がオープンしました。その来場者数はオープンから約半年で 100 万人を突破し、全国でも人気の道の駅です。人気の秘密は、食・農・楽！

<食>

地元の新鮮な農産物や、茨城の特産品を活かした絶品グルメ、道の駅オリジナル開発の加工品などを提供しています。



<農>

農産物直売所で、地元の生産者や茨城県全域から届く新鮮な農作物が販売されています。



<楽>

屋外には田園風景を見渡せる展望デッキを始め、交流広場や芝生公園・遊具など、子どもたちの遊び場も充実しています。



子育て・AI まちづくり

子どもまんなかまちづくり常総!!

本市独自となる「子育て世帯の経済的負担の軽減」や、公園整備などによる「子どもの居場所づくり」、オリジナルプログラミング教育の実施、奨学金制度の大幅な拡充などによる「教育環境の充実」、大規模な市街地整備などによる「子育て環境の充実」など、幅広い分野で包括的な取り組みを展開しています。



このキャラクターは、市内の小学生が職業体験を通じて制作したヒーローです。



取り組みはこちらから

地域の宝である子どもたちが健やかに成長できる環境を整え、将来の常総市を担う子どもや若者たちが「常総市で子育てをしたい」「このまちに住み続けたい」と思えるような、子どもを中心に据えたまちづくりを「子どもまんなかまちづくり常総」として推進しています。



未来にはばたけ!



常総の子どもたち



常総市から始める AI まちづくり

本市では、少子高齢化や若者の流出など様々な社会課題の解決に向け、2022年6月30日に、株式会社本田技術研究所と「AI まちづくりへ向けた技術実証実験に関する協定」を締結し、AIなどの先端技術を用いた新たなまちづくりの実現を目指しています。

先端技術を活用した新たな産業と雇用機会を創出することで、若年層を中心とした生産年齢人口の還流を促進するとともに、将来、AI企業などの雇用需要に応えられるよう、市内の子どもたちに対しキャリア教育やAI教育を展開し、将来の人材育成に取り組んでいます。



みんなの夢を現実に